



本校の図書館には、中央書道会の重鎮として活躍した比内町出身の山口蘭溪の書である「須抱鴻志」が掲げられています。この書の意味は「ぜひ大きな志を抱くがよい」ということだそうです。多くの生徒がこの言葉を座右の銘とすべく、その前で記念写真を撮り、巣立っていったことが、本校に残るアルバムか



空から見た花岡中学校

## 歴史が残す

### 「鴻志ノート」

ら伺い知ることができません。長い間、本校の卒業生を送り続けてきた額縁「須抱鴻志」は、現在もお図書館に飾られ、在校生を励まし続けています。また、本校の学習生活実施記録ノートの名称「鴻志」として今でも活用されています。

## 力を培う

### 「ゴーマル運動」

「ゴーマル運動」は、中学校の授業時間の五十分に合わせ、毎日家庭で宿題以外の勉強をすることであり、最低五十分間取り組むためのキャッチフレーズです。「ゴーマル」の由来は、

① 50分授業の50分間がんばること (50:ゴーマル)

② GO (やろう、がんばろう) であり、「一人学習のできる生徒を育てることを目的としています。今年で五年目を迎え、確実にその成果も上がってきています。今年度は生徒たちががんばりに対して、称揚活動を試み、生徒の意欲を引き出す工夫をしています。

## 心を耕す

### ボランティア活動

本校は「秋田県青少年赤十字」に加盟しており、奉仕活動並びに環境整備・緑化運動を活発にしようと取り組んできました。

親子共同での花壇整備、募金活動、秋田県青少年赤十字トレーニ



花岡川クリーンアップ

ングセンターへの生徒派遣、老人ホームへの訪問など、いろいろな活動を行っています。その中で、毎年一番最初に行われるのが「花岡川のクリーンアップ」です。

花岡川は、校舎の目の前を流れる川で、その土手には昭和三十九年度卒業生の手によって植えられた桜の木が、約百メートルほどの美しい桜並木を作っています。地域ではこの美しい桜並木を利用して、毎年四月下旬に「桜まつり」を行っており、大館市の隠れた名所として多くの市民が訪れています。この桜並木の下を流れる花岡川をきれいにし、地域社会への奉仕と貢献の心を育てようというのが「花岡川クリーンアップ」です。今年もトレパンのすそをまくりながら、川の中まで入り、水の冷たさも忘れて作業に夢中になる生徒の姿が印象的でした。

## 夢を追う

### 「フラ輪タイム」

今年度から花岡中学校では「フラ輪タイム」という時間を始めることにしました。これは、生徒が興味・関心を持って主体的に学習できる「総合的な学習」の時間が二〇〇二年から設置されることに先がけて行うものです。生徒一人ひとりからネーミングを募集し、いろいろ検討した結果、このような名称になったものです。これは、花中の生徒が一つになって目標に向かって突き進むこと、一人ひとりが互いを思いやって、自分たちの時間としてがんばること、人の話に耳を傾けて成長し、自ら進んで、〇〇するわ(輪)、〇〇でがんばるわ(輪)という行動の様子を表現しています。また、「フラ輪」の「輪」はour(私たち)のほかに、校歌の二番でも

「友愛の輪もつまじく」と歌われており、世界平和の大きな輪になってほしいという思いも込められています。今年度の具体的な取り組みは次のとおりです。

● 間もなく現在の校舎が改築のためなくなるので、ミニ校舎や校庭など校舎周辺の立体模型をつくり、学校祭で展示しよう。

● ミニの自分を制作し、ミニの校舎に登場させよう。

● 全校で伝統文化に触れよう

● 小坂町の伝統的な建造物「康楽館」を見学しよう。

● 演劇鑑賞をしよう。

すでに生徒たちは、ミニ校舎づくりのために校舎や樹木、土手などの実測を行い、設計図づくりへと駒を進めています。巻き尺や糸、ビニールテープあるいは分度器を駆使するなど、校舎の内外に生徒たちの明るい声が響きわたっています。



校舎の測定

大館市立花岡中学校  
〒017-0005  
花岡町字前田202-1  
TEL 46-13020

校長 小西 朝昭  
生徒数 112人  
創立 昭和22年

次回(8月16日号)は川口小学校が登場します。

「おあしす」は、内容、デザインなど、すべて学校側で作成し、学校の紹介、自慢などをしてもらおうコーナーです。